

## 日本日中関係学会青年交流部会 2020 年度第 2 回定例会報告書

青年交流部会第 2 回定例会は、コロナ禍が収まらないなか、Web 会議となりました。

テーマ コロナ禍の日中青年事情：

直面する事情を理解し、前進への手掛かりを探る

～進路・学業・何でも相談会～

趣旨：コロナ禍により、青年たちから、就職をはじめ、進学や留学・健康管理など、さまざまな場面において不安の声や深刻な叫びが聞こえる。そこで、青年たちが前進するきっかけを探る場として、今回の定例会を行う。ビジネス・教育・メディアで活躍する日中関係学会の会員がシニアメンターとして意見交換を行う。

青年の声：「コロナ禍で就活が不安」「いま中国在住。来日できるか不安。大学院の状況は」「アルバイトが打ち切られ、学費の工面が必要。働き口があれば教えて」「ストレスが重なり、回復に苦勞。就活も不安」「日本で学び、中国で就職したい」

日時 2020 年 12 月 15 日(火) 日本時間 18:00 ～ 20:00

参加者 21 名 (内訳) 青年：14 名 シニア：7 名

学生：日本人 41.4% 中国人 58.6%

海外在住者からのアクセス：3 名

会議進行 委員長：陳星竹さん、共同委員長：朱杭珈さん、司会：田村浩樹さん

企画委員：若干名 (ファシリテータ、パワーポイント作成担当等)

次第：第一部 全体会：開会挨拶、趣旨説明、進行上のお願い

第二部 分科会：青年・シニアメンターとの意見交換

<第 1 班>就職とキャリア

<第 2 班>進学・留学とキャリア

<第 3 班>コロナをめぐる総合問題 (健康&経済問題など)

第三部 全体会：各分科会代表報告、参加者からの感想、講評、事務連絡

2

### 【青年交流部会講評】

第 2 回定期交流部会は、若者自身の切実な問題に焦点を当て“学生の皆さんの悩みに応える”というスタンスで臨みました。今回の準備は、7 月末より陳星竹さん、朱杭珈さんを中心に、若者主導で「企画委員会」を組織し、テーマの選定、定例会の告知、参加者名簿

の作成から、研究会実施の段取りまで、WeChat を活用して打合せを重ねてきました。“若者主体”は、準備段階においては初回研究会より大きな進歩があったと思います。

当日は、田村浩樹さんの軽快な司会で、順調に進行しました。分科会では小ぢんまりした人数で和気藹々と話が弾み、身近に色々な相談ができたようです。若者同士、そしてシニアメンターの皆さんが、一人ひとりの声に真剣に耳を傾ける雰囲気を作られました。第三部の全体会では、参加者たちの感想に続き、最後に林副会長より、若者への激励として「置かれた場所で咲きなさい」という渡辺和子さんの言葉を頂戴し散会しました。今年度2回の定例会は、青年たちの成長にとって自信となり、よい経験になったと評価されましょう。定例会で頑張ってくれた全員に惜しめない拍手を送りたく思います。

-----

### 【分科会における班別の報告】

若者の直面する悩み・問題に対するシニアメンターのアドバイス、感想

#### ●第1班<就職とキャリア>

- ・自分に向いた職業がわからない
- ・コロナで家族と一緒にいる時間が増えたが、だらだらと過ごしてしまう
- ・日本で就職が決まったが、家族のことを考えると、中国に帰って父母に親孝行したい気持ちもある
- ・コロナで就職が大変

➡どんな職業があるか、そのうちのどれに向いているか、自己分析が大切だ。

社会科学系＝分析力、大局観 / ビジネス系＝金儲けのセンス / 技術系＝自分の特技

➡金儲けは必要だが、奉仕の精神を忘れてはいけない。「私」だけでなく、「公」のことを考える。

➡様々な「悪の誘惑」に遭遇した時に、背筋をまっすぐにしていられるか。

自分の信念・実力（キャリア）を持ち、断り切る。専門（語学・資格）＝どこでも通用する

➡「一専多能」という言葉を送りたい。専門だけでなく、広く浅い一般常識も同時に必要。

（感想）皆さんのお話を聞いているうちに、同じようなことで悩んでいた若いころの自分に再会したような

気がして、懐かしい気持ちになりました。

3

#### ●第2班<進学・留学とキャリア>

・中国の大学で日本人の先生に教わり、日本に留学する決意をしたが、コロナの影響で、足止めされた。

➡オンラインで受験できる大学を見つける。間口を広げて複数の大学の試験を受けた方が

よい。

・海外の大学に留学する際に、その親戚〈日本人〉の家に泊まりたい。

➡海外に行くなら、緊張感の持てる環境下で留学生活を送ったほうが語学力が上達しやすい。

・海外留学の予定が中止になってしまった／進学を考えたが、就職に切り替えるか迷っている。

➡メンターもかつて在外研究中に予期せぬ変更を余儀なくされたが、それは経験値の上昇であり、新

しい機会の獲得でもあった。状況に応じた可能性を考えよう。夢と迷いが青春時代の特徴。

答えがわ

からなくて当たり前。道はさまざまなか縁で作られる。どれも 1 つの道。前向きに開拓してほしい。

(感想) 若いときには留学のキャリアを持ったほうがいい。異文化の環境の中でいろいろと苦勞されるこ

とと思うが、しかし、これらの「苦勞」は大きく成長する糧であり、一生の宝物にもなるのです。

### ●第3 班<コロナをめぐる総合問題 (健康・経済問題など)>

・日本で就職するもコロナで赴任できず。不安だがこの期間を楽しむ自分もいる。早く仕事したい!

➡色々幅広く勉強を／日本では同僚以外も信頼できる日本人の友人(知り合い)を見つけよう／一人

じゃない。何か有ったら周り意見交換。また明日がやってくる。一息しながらやっ

・大学キャンパスに行けず、悩みを抱え込んでいる。消極的な性格? 能力の問題? 不安が多い。

➡気の合う友達と会ってみては? /性格でなく、行動を自分の気持ち次第で変えてみては?

・健康管理に心配あり。睡眠不足で疲れが溜まる。学校の課題も多い。友達との人間関係でストレス。

➡睡眠前の過ごし方に気を付ける。寝る前はスマホを見ないなど／ジョギングなどで昼間に体を

徹底的に疲労させる(汗をしっかりとかく)と、体の疲れから短時間にも関わらず熟睡できる。

・コロナ下で中国人が武漢人を、世界(日本も含まれる)が中国人を差別する現状に不安と不満。

➡今後の中国は経済成長とともに世界から尊敬される国づくりを目指していくのでは?

-----  
【青年の皆さんの感想】

●Aさんより 定例会が成功裏に終わりましたことは、参加者の皆さんのご協力があったこそと感謝しております。これからもぜひ、このようなイベントが定期的開催できることを願っております！

●Bさんより

皆さん、本日は本当にありがとうございました。コロナ大変の中で、このような交流の場を準備して

4

くださった方々、参加してくださった方々に感謝しております。キャリアの話から生き方で色々意見

交換できて、大変参考になりました。卒論などで疲れた心も癒されました。「置かれた場所で咲きな

さい」、「一専多能」、「言葉以外の付加価値を見つける」等々のキーワードはこれからの人生の歩み

方にも活用したいと思います。今後ともこのようなイベントが開催できればと思います。引き続きよ

ろしくお願いいたします。

●Cさんより

このような機会に参加させていただき、ありがとうございました。今回、私は自分を変えたいという

思いがあり、参加しましたが、この経験をしたことで、自分に少しずつ自信をつけることができたと思

います。

このようなチャンスがあった際に、自分からチャレンジをして今後も取り組んでいきます。

また、皆様とお話をする事ができ、私もとても気持ちが楽になりました。人前でこんなに話すこと

は今までに無かったので、とても良い経験をする事ができました。「性格は変えられないけど、行

動は変えられる」というお言葉を頂いたので、行動を積極的にして尽力していきます。今後とも宜しく

お願い致します。

●D さんより

本日は大変有意義な時間を過ごすことができました。沢山の貴重なお話とアドバイスを拝聴するこ

とができ、とても充実した時間となりました。「自分の性格は変えられないが、行動は変えられる」と

いうお言葉をいただき、これからの大学生活の中で経験を積んでいき、自信に繋げていきたいと思

います。

メンターの方々の「一専多能」などのモットーの数々は大変興味深く、言葉に重みがありました。

意見交換の時間では、悩みを抱えていたものの、分科会の際にメンターの方々から貴重なアドバ

イスをいただけたことで、私含め、参加した多くの人が前向きになれたことを感じました。

今後、またこのような機会があればぜひ参加させていただきたく思います。

開催に向け準備してくださった皆様、アドバイスをくださった皆様、誠にありがとうございました。

●E さんより

ファシリテーターを担当させていただきました。無事交流会が成功したのはここまで準備して下さ

った皆様のご尽力があったからこそと存じます。ありがとうございました。次の機会でもよろしくお願

いします。

以上